

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和元年 8 月 31 日（土）午前 10 時～11 時 30 分  
場 所 コスモふじみ野大集会室GENKI（コスモふじみ野町会）  
参加者数 23 人



### 主な意見等

参加者 築40年となる公民館を老朽化のため建て替えるとの事ですが、そもそも公民館がどうしても必要なものなのか疑問です。

市 長 公共のスペースは市内に一定程度配置されるべきだと考えています。集合住宅の集会室などがあればいいですが、そのような場所がない地域の方が余暇を過ごせる施設は必要であると考えています。また、公的なフロアやスペースは避難場所にもなります。

参加者 公民館建て替えの場所についてはイトーヨーカドー跡地やイオンの建設予定地についても検討がなされたのでしょうか。

市 長 イトーヨーカドー跡地については、すでに住宅建設の予定があるようです。また、イオンについても既に建設が始まっている状況です。

参加者 公民館建て替え後の規模を考えると、市の大きなイベントは分散しないと開催できないと思います。合併以来、まつりなども分散しての開催が続いているため、市が一つにならないのではないのでしょうか。規模を検討する際はそういった面も考慮されていたのでしょうか。

か。

市 長 スポーツフェスティバルや市民文化祭については今後、一緒にできないかという意見が出てきています。  
行政からの提案で一つにまとめても、実際はうまくいかなかったこともありました。市民が主役となるイベントですので、市民の皆さんからそのような意見が出ることを望ましいと考えています。

参加者 ふじみ野駅から線路沿いやセイコーモータースクール沿いの道は歩いていて危険を感じているため、歩道の整備を検討してほしいです。また、渡辺クリニックの曲がり角は120度ぐらい曲がりますが建物で視界が悪いです。警察も取り締りをしてはいますが、取り締りではなく根本的な改善をしてほしいと思います。事故が起きる前に市でも対策を検討していただきたいです。

市 長 道路の関係は私も取り締まりではなく、対応策がないものかと思えます。市内でも同様の箇所がありますが、交通安全対策には規制をかけることや車と歩行者のモラルの向上も必要と考えておりますので、啓発活動を行い、少しでも改善できるように進めてまいります。

参加者 高齢になると、近くにある施設の方が利用しやすいため、大井分館をきれいにして利用しやすくしてもらいたいと思います。

市 長 合併当初、集会施設の維持管理費について、大井地域は行政の負担、上福岡地域は利用者の負担という差異があり、不満の声がありました。そうした不公平がないように市から光熱水費について補助金を出しました。  
しかし、今後は上福岡地域についても市に移管してもらい、行政で維持していくことも考えています。ただ、行政で維持していくということは皆さんの税金を使うということです。人口減少に伴い、1つの施設を複数の自治組織で使ってもらうことも視野に入れつつ、分館も地域のコミュニティ施設として整備を進めていきたいと考えています。

参加者 コスモふじみ野周辺の公園について、10年程前に木が大きくなって子どもの登校に危険であるため、市に切っていただいたことがあります。現在も木が大きくなり暗くなっていますので、木を切っていただいて明るい公園にしてもらいたいです。また、バスの停留所もあるので座れるベンチなども欲しいと思います。自宅からの眺望も悪くなってしまったので、改善してもらいたいです。

市長 市全体の公園について、剪定等の実施間隔は以前よりも伸びてきていることはあります。しかし、皆さんの税金を使って行うことですので、その配分を抑えながら行っていることにご理解いただきたいと思います。お話の高木化しているものについては、担当と調整を図りたいと思います。

参加者 公園でのボール遊びが禁止されていますが、ネットをつける、時間指定で使わせるなどで対応はできないでしょうか。ボランティアが巡回するなど、人が対応することを検討してほしいと思います。学校でもボール遊びができず、新しいスポーツ施設ができて子どもたちは遠くて行けません。他の自治体で「こども遊び基本条例」がありますので参考にして検討してもらいたいです。

市長 ボール遊びについては私も同じ思いです。しかし、世論や時代背景の中で様々なことが変わってきています。かつては私たちも放課後に校庭で遊んでいました。しかし、放課後に怪我があると学校の責任になってしまいます。ある自治体では自己責任であるとの誓約書を取りましたが、法的な制約はないとのことでした。教育長にも相談し検討しましたが、難しいということでした。「こども遊び基本条例」などでどこまでできるかわかりませんが、子供たちがボール遊びをできるスペースはなんとかしたいと思っています。学校訪問でも子どもたちからそのような意見がありますし、10月に行う子ども議会の質問通告の中でもそうした意見がありました。子どもたちの発言をきっかけに議論を前向きに進めていければと思います。

参加者 タウンミーティングやさまざまな検討会議などで市民からの提案を多く受け取っていらっしゃるかと思いますが、福岡高校跡地の活用など、市民が出した意見と現状が違うようなケースも見受けられます。PDCAサイクルをきちんとして市民との協働をしてもらい

たいと思います。市民の意見を聞いてどのようにしたかを分かるようにしてほしいです。

市長 福岡高校跡地の活用については、私も校舎を使いたいと思いましたが、市街化調整区域の関係で開発の制約が非常に多いことがありました。

この件のみならず、皆さんにいただいた提案をさまざまな事情で実現できないこともあります。しかしながら、関わっていただいた方にはしっかりと説明をするべきであったと反省しています。

参加者 公園で子どもたちとボール遊びを行った際、地域の人にアンケートを取りました。40歳前後の男性の7割の人が子どもとキャッチボールをしたいと答えています。市民ニーズがあるので禁止にしないでほしいです。

市長 ボール遊び自体がダメとは考えていないのですが、さまざまな方の意見があり禁止している状況にあります。

参加者 ボール遊び禁止については、住民の考え方も影響していると思います。親が危険性ばかり訴えるので禁止になってしまう。その結果、子どもたちがボール遊びをできなくなってしまうのだと思います。

市長 ご意見ありがとうございます。

参加者 給食費について、7割を市が補てんしているとの事ですが、私がかつて西原小学校に勤務していた時、給食費が納められない子どもに給食を食べさせないということがありました。今もそのようなことがあるのでしょうか。また、市内にこども食堂はいくつあるのでしょうか。

市長 そういった話は初めて聞きました。そのようなことはあってはならないことであり、今は絶対にありません。  
行政的な支援として生活保護を受ける方でも最低生活費の中にお子さんの人数分の給食費が入っています。給食費が払えないのではなく、別のことで使ってしまったということであれば払えないとい

うことが起こるかもしれません。

こども食堂は行政の管轄ではなく地域のボランティアの方が行っています。詳しい数は把握していませんが、市内でも数か所あるようです。

参加者 給食費については、就学援助制度があるので生活保護を受けなくても給食費を払えないということはないはずです。学校を通して市に申請すれば、給食費そのものを市が負担してくれるので、給食費を払えない家庭というのはゼロのはずです。

市長 おっしゃるとおりです。生活保護の基準より若干上の収入であっても就学援助制度がありますので、給食費が工面できないというのはありえないと思います。

参加者 市長がタウンミーティングを開催するに至った考え、思い入れを教えてください。

市長 私は市議会議員時代から地域でミニ集会をやっていました。そこで出た声からまちづくりについて考え、地域課題について議会で発言をしていました。一番身近な皆さんの声を直接聞いていく、議会で発言した内容を皆さんにお伝えしていく、これが一番大事であると考えていました。それは市長となった今も変わりません。  
市民のみなさんは道路、図書館、公民館などの公共施設は市のものと考えている方が多いと思います。しかし、造るときのお金も維持するお金もすべて皆さんのお金でやっています。そうした皆さんの財産をどのように使っていくのかを一緒に考えてほしいと思います。  
タウンミーティングは皆さんの声を直接聞く、大事な機会と考えています。